

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

### 新規受託項目

- [13197] フェンフルラミン

### 受託開始日

- 2024年2月1日(木)



# フェンフルラミン

Dravet症候群は、薬剤抵抗性の難治性てんかん症候群であり、国内推定患者数は約3000人とされています。本症の多くの患者でSCN1A遺伝子変異が認められ、これによる抑制性シグナルの機能低下がてんかん発作の原因と考えられています。治療法としてはスチリペントール等による抗てんかん薬による併用療法が利用されています。

フェンフルラミンは複数のセロトニン受容体を活性化し、セロトニンの放出を促進。この作用により発作減少をもたらすことが報告され、2022年9月には他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないDravet症候群患者に対して使用が承認されました。

本剤は、併用する薬剤の影響や腎機能低下などにより血中濃度が上昇することが知られており、過剰量によりセロトニン受容体が発現している心臓弁膜に作用し心臓弁膜症を引き起こす可能性も指摘されていることから血中の濃度管理が重要となります。

本検査ではLC-MS/MS法を用い血中のフェンフルラミンおよびその代謝物（ノルフェンフルラミン）の濃度を測定します。

## 検査要項

項目コード	13197
検査項目名	フェンフルラミン
検体量	血清 または EDTA血漿 0.3mL <sup>*1</sup> [容器番号：03番→02番 または 容器番号：14番→02番]
保存方法	冷蔵
検査方法	LC-MS/MS法
有効治療濃度	フェンフルラミン (設定せず) ng/mL ノルフェンフルラミン (設定せず) ng/mL
所要日数	3～5日
検査実施料	470点 <sup>*2</sup> (「B001」特定疾患治療管理料「2」特定薬剤治療管理料「イ」特定薬剤治療管理料1)
主な商品名	フィンテプラ®
報告下限	1.0 ng/mL 未満
報告上限	9,990,000 ng/mL 以上
報告桁数	小数1位、有効3桁
備考	<p>*1：検体採取方法について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・血清の場合：分離剤入り採血管は使用しないでください。測定値が分離剤の影響を受ける場合があります。</li><li>・EDTA血漿の場合：EDTA-2Na採血管(容器番号14番)にて採血し、転倒混和した後、遠心分離し、血漿成分のみを提出用容器(容器番号02番)に移し、冷蔵にてご提出ください。</li></ul> <p>*2：てんかん患者であって抗てんかん剤を投与しているものに対して投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定できます。</p>

## 参考文献

Strzelczyk A, et al. : CNS Drugs 36: 217-237, 2022.